

第 42 回日本木材学会北海道支部研究発表会の概要報告

日本木材学会北海道支部・支部長
北見工業大学 青山政和

2010年11月9日(火)に第42回日本木材学会北海道支部研究発表会が札幌市の札幌コンベンションセンターにおいて開催されました。日本木材学会北海道支部はここ数年、隔年で日本森林学会北海道支部と合同で講演会・研究発表会を開催しており、今年は札幌での合同開催の年に当たっておりました。この趣旨に沿って10時半から12時まで「人工林を広葉樹林へ誘導する」というタイトルで両支部合同の講演会が開催されました。講演者と演題は以下の通りです。

田内裕之(森林総合研究所四国支所)

「広葉樹林化技術開発への取り組み ―目標林型と更新基準―」

今 博計(北海道立総合研究機構林業試験場)

「北海道における広葉樹林化の可能性」

明石信廣(北海道立総合研究機構林業試験場)

「広葉樹林化におけるエゾシカ食害のリスク」

午後は13時から14時30分までポスター発表、休憩をはさんで14時45分から17時まで口頭発表が行われました。ポスター展示は森林学会と同一会場で行われ、学会をまたいだ活発な意見交換もみられました。ポスター・口頭発表の演題と発表者は以下の通りです。

ポスター発表

番号	題名	発表者
P-1	食用担子菌の菌床栽培における木炭添加の効果	○杉山諒司, 玉井 裕, 矢島 崇, 宮本敏澄(北大院農), 原田陽(北林産試)
P-2	木酢液の木材防腐効果に関する組織学的研究	○鄭 美和, 崔 貞恩, 洪 鎮英, 金 英熙, 趙 祖旭(国立文化財研究所保存科学室, 韓国)
P-3	スギ材水蒸気乾燥凝縮液の防カビ性能	○富樫 巖, 佐藤明日香, 後藤隆之(旭川高専), 藤本英人(宮崎木技セ)

- P-4 土壌放線菌からの新規プロテインホスファターゼ阻害物質の探索 ○柳田進太郎, 三橋進也, 重富顕吾, 生方 信(北大院農)
- P-5 エゾマツ晩材部における褐色腐朽の進行に伴うせん断破壊状況の変化 ○石原 亘, 澤田 圭, 佐野雄三, 玉井 裕, 宮本敏澄, 平井卓郎, 小泉章夫, 佐々木義久(北大院農), 東 智則, 森 満範(北林産試)
- P-6 トロマツの辺材と心材は近赤外分光分析で判別できるのか? ○宮内輝久, 藤本高明(北林産試)
- P-7 土壌含水比の変化がカラマツ立木の根鉢剛性に与える影響 ○関矢 陽, 佃 猛司, 佐々木義久, 小泉章夫(北大院農)

口頭発表

- | 番号 | 題名 | 発表者 |
|-----|--|--|
| O-1 | カラマツ木部柔細胞の過冷却能に関する冬季誘導性タンパク質(LkDRP1 及び LkDRP2)に関する研究 | ○能美彩香, 森本和成, 藤川清三, 荒川圭太(北大院農) |
| O-2 | ハイブリッドアスピンの凍結抵抗性に関する研究 | ○板羽貴史, 砂留光利(北大院農), 上出奈央(北大農), 藤川清三, 荒川圭太(北大院農) |
| O-3 | 異なる凍結挙動を示すカツラおよびシラカンバ冬芽の組織細胞 | ○遠藤圭太, 荒川圭太, 藤川清三(北大院農) |
| O-4 | モウソウチク稈水解物のキシリトール発酵 | ○松本晃幸, 三浦雅弘, 横野圭太郎, 霜鳥慈岳, 青山政和(北見工大), 中原正博(北海道三井化学(株)) |
| O-5 | エレクトロスピンニング法によるセルロースアセテート・ナノファイバーの調製とその利用 | ○富樫文哉, 幸田圭一, 浦木康光(北大院農) |
| O-6 | カラマツ材の鉄とニッケルの共触媒炭化の効果 | ○小泉祐太, 鈴木京子, 鈴木 勉(北見工大) |
| O-7 | 近赤外分光法による様々な含水率状態における木材試料の全乾密度の推定 | ○藤本高明(北林産試), 土川 覚(名大院農) |
| O-8 | 釘一面せん断単位接合部に対する複数本接合部のせん断性能の比較 | ○重本洋介, 澤田 圭, 佐々木義久, 平井卓郎, 小泉章夫(北大院農) |

なお、これらの発表要旨は以下に掲げる日本木材学会北海道支部のホームページから閲覧・ダウンロードすることができます。

http://www.agr.hokudai.ac.jp/wrsh/oshirase/2010_11_9Program.html

口頭発表の終了後に、例年の通り、第8回北の木材科学賞の選考を行いました。参加者の投票結果を理事メンバーで集計した結果、以下の受賞者を決定しました。

【口頭発表部門】

「エレクトロスピンニング法によるセルロースアセテート・ナノファイバーの調製とその利用」

(北大院農) 富樫文哉、幸田圭一、浦木康光

【展示発表部門】

「土壌放線菌からの新規プロテインホスファターゼ阻害物質の探索」

(北大院農) 柳田進太郎、三橋進也、重富顕吾、生方 信

研究発表会終了後、札幌コンベンションセンター内のレストランで森林学会北海道支部と合同で懇親会を行いました。森林学会から24名、木材学会からは10名が参加して交流を深めました。

以上